

平成30年4月30日

全教神教玄報



全國教育關係神職協議會副會長 寶來 挑佐子

平成三十年は、天皇陛下御即位三十年の奉祝、そして明治維新百五十年の年です。

平成二十八八年八月八日 全教神協
全国大会の最中に発表された、陛下
の御会見ビデオは衝撃でございまし
た。それから二年、今年御即位三十
年の節目の年を迎えたが、来年
の御讓位を控え大きな時代の流れ
を感じます。一昨年来、皇室に関
するテレビや報道で自称コメントテー
ターの発言が目につきます。私達

身に付けて下さい。百二十五代の歴史の大きな危機をはらんでいます。昭和二十年八月の敗戦後、七年にも亘る占領下の時を経て、日本はサンフランシスコ講和条約の締結によって主権を回復しました。しかし我が国の文化や伝統、国内情勢や教育現場に於いては、過酷な時代の幕開けであつたとも言えるでしょう。日本人としての矜持、日本人らしさ、道徳や倫理観は占領政策の流れ

が、軽々しく論することはすべきではありませんが、社頭で氏子さんや崇敬者の方に聞かれてても動じないよう、敢えて次の点について、全教神協の会員の皆様に提言致します。

「皇統に属する男系の男子」につ

化に対する取組、歴史に対する認識を正しく指導する方向も示されるようになっています。しかし、現実の社会では、マスメディアの過剰な偏向報道が多く見られるのは何故でしょうか。どの様な意思の下、日本の人々の心や方向を牽引しようとしているのかと疑問を感じます。

化に対する取組、歴史に対する認識を正しく指導する方向も示されるようになっています。しかし、現実の社会では、マスメディアの過剰な偏向報道が多く見られるのは何故でしょうか。どの様な意思の下、人々の心や方向を牽引しようとしているのかと疑問を感じます。

今年二月は、韓国の平昌で冬季オリンピックが開催されました。今回ほど、政治や国際関係上話題の多かつた大会は稀でしょう。各競技の表彰式で日の丸があがるのを見て、

心を熱くした日本人も多いと思いますが、あるマスコミ報道の中で、それには水を差すような「ニッポン」という意識は、どうかと思ふ……」といった、貴方はいつたい何

全國教育關係神職協議会
〒五一一〇〇五三
東京都渋谷区代々木一一二
電話〇三一三七九一八〇一
FAX〇三一三七九一八九九
題字 謙訪秀一氏

教育が押し進められ、自虐的歴史觀が浸透する中、先人達が昭和三十五年にこの全国教育関係神職協議会を立ち上げられました。それから半世紀以上に及ぶ、先人達の弛まぬ努力は並大抵の事ではなかつたでしょ

處の國の人?と耳を疑いたくなる發言があつたことに驚きました。これも、戦後七十有余年間に擦り込まれた、G H QによるWG I P (War Guilt Information Program) の影響と言えます。

今、教育現場にいる三十代から六十代は、この影響の下で教育を受け、現任教師となつた世代です。当会の会員達は、日本人の誇りと正しい教育を取り戻すため、神職として奉務し、教育者として真摯に向き合っています。

明治維新は、様々な変革と発展を我が国にもたらしました。国際社会の中では日本の地位と国威を広めたスターントとも言えます。大政奉還により、天皇親政を基本として、諸外国に追いつくための改革が模索されました。五箇条の御誓文をはじめ富国強兵、殖産興業による日本の近代化の過程についてはご周知の通りです。当時の国際社会に於いて、アジアが蔑視される中、日清戦争、日露戦争の勝利で世界は驚愕したことで、よう。

- 1 -